

平成21年度

# 香歯ポストグラジュエートセミナー



平成21年11月3日（火・祝）

午前9時30分より

香川県歯科医療専門学校 7F 8020ホール

主 催 社団法人 香川県歯科医師会

（日歯生涯研修ICカードをご持参下さい）



香川県歯科医師会  
会長 豊嶋 健治

紅葉の候、会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、第2回の香歯ポストグラジュエートセミナーは、これまでとは趣を変え岡山大学から6名の現役教員を講師にお迎えし、歯科臨床フレッシュアップセミナーを企画致しました。

昨今の時代の変遷はゆっくりと移りゆくものではないようです。昭和の高度成長期とともに構築されてきた社会は大きく変わろうとしています。医療も例外ではなく、今年は日本の社会構造が大きく変わる転換期になるかもしれません。

そんな時代に患者さんは我々歯科医に何を求めているのでしょうか？歯科医師の人口が過剰といわれる今日、歯科界ではかかりつけ医のような一般歯科と、特定の分野に精通した専門医との2極化がおこっています。どちらに進むにも今の時代は厳しい道のように思えます。人は迷った時往々にして、もと来た道をふり返ります。

卒後間もない先生も、ベテランの先生方も学生時代に戻って今回のセミナーに参加してみませんか。卒業当時とはそれぞれの分野において、手法も材料もあるいは概念までも変わっているかもしれません。コーディネーターの鳥井先生には、歯科医療、歯学教育の将来展望についてお話頂くようお願い致しております。各分野の講師の先生方からは、基礎的な項目の他に明日からの診療に役立つような最新の情報をお話頂けることと思います。

今回のセミナーは、歯科医師だけでなく衛生士、技工士の皆様にもお役にたつものと考えておりますので、日々の診療でお疲れのこととは存じますが、スタッフの皆様とご一緒に是非ご参加くださるようお願い申し上げます。最後になりましたが、セミナー開催にあたり、鳥井先生をはじめ、5名の講師の先生方にご多忙の中ご協力して頂きましたことに厚くお礼申し上げます。

## ■プログラム

---

---

- 9：30 開 会 学術担当常務理事 蓮井 義則  
挨拶 香川県歯科医師会会長 豊嶋 健治
- 9：35 はじめに  
〔 歯科医療、歯学教育の将来展望〕  
～歯科臨床フレッシュアップセミナーの開催にあたって～  
総合歯科教授 鳥井 康弘
- 10：00 第一セミナー 予防歯科学  
〔 予防歯科臨床と口臭測定〕  
～岡山大学病院予防歯科での臨床～  
予防歯科学分野助教 玉木 直文
- 11：00 休 憩
- 11：10 第二セミナー 小児歯科学  
〔 小児の行動発達と歯科診療〕  
小児歯科講師 尾形 小霧
- 12：10 昼 食
- 12：40 第三セミナー 口腔外科学  
〔 抗血栓薬、ビスフォスフォネート製剤服用患者に対する  
抜歯の対応〕  
～抜歯基本手技と症例選択～  
口腔顎顔面外科学分野助教 志茂 剛
- 13：40 休 憩
- 13：50 第四セミナー 歯科保存学  
〔 日常臨床に歯周組織再生療法を活かす〕  
～症例選択から切開・縫合まで～  
総合歯科助教 河野 隆幸
- 14：50 休 憩
- 15：00 第五セミナー 歯科補綴学  
〔 義歯による機能回復とそれを維持する義歯調整のために  
必要な基本的知識〕  
総合歯科講師 白井 肇
- 16：00 閉 会 香川県歯科医師会副会長 武部 裕光



## 「歯科医療、歯学教育の将来展望」 ～歯科臨床フレッシュアップセミナーの開催にあたって～

岡山大学病院 総合歯科 教授 鳥井 康弘

このたびのセミナーは、香川県歯科医師会員の先生方の臨床のフレッシュアップに役立つセミナーをとのご依頼を受け、企画いたしました。

現在、歯科医療界は多くのマスコミでとりあげられているように大きな岐路にたっており、行く末が見えず不安の只中にいるように感じます。このような状況の下では、社会のニーズを見極め、そのニーズを満たす歯科医療を提供することが重要となるでしょう。そのための歯科医療のキーワードは、MI（ミニマムインターベンション：最小の治療介入）、組織再生および全身疾患医療のバックアップではないでしょうか。歯科医学研究の進歩、歯科材料の発展に伴い、疾患の治療のみであった歯科医療は、予防的、保存的、自己治癒を目指した医療への変換が求められています。先生方の日常の臨床も、学生時代に学んだものから大きく変わってきていることと思います。また、医学の大幅な進歩に伴って、高齢者、有病者を対象とした歯科医療が当たり前となり、さらに口腔疾患と全身疾患の関係が明らかになるにつれ医科歯科の連携の重要性も増してきています。

セミナーでは、まず、現在の大学において社会のニーズにマッチする良質な歯科医療を提供できる医療人の育成のための私どもの取り組みについて紹介させていただくとともに、歯科医療、歯学教育の将来展望についてお話させていただきたいと存じます。

さらに、岡山大学歯学部において教育、研究、そして臨床の現場の第一線で活動している各専門分野の先生方から、これらのキーワードと関係する専門領域の歯科医療とともに、臨床で役立つヒントや最新のトピックを紹介させていただきたいと思っております。このセミナーを先生方の日々の臨床のフレッシュアップにお役にたてただければ幸いです。

### ●略歴

鳥井康弘：日本歯科保存学会保存治療専門医・指導医

昭和57年3月 大阪大学歯学部卒業

昭和61年3月 大阪大学大学院歯学研究科修了

昭和61年4月 大阪大学歯学部助手（保存学講座）

平成63年7月 大阪大学歯学部附属病院講師（保存科）

平成3年5月 岡山大学歯学部助教授（歯科保存学第一講座）

平成16年7月 岡山大学病院教授（卒後臨床研修センター歯科研修部門・総合歯科）

現在に至る

## ■第一セミナー (10:00~11:00)

日歯生涯研修コード No. 0901



### 「予防歯科臨床と口臭測定」 ～岡山大学病院予防歯科での臨床～

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 予防歯科学分野

助教 玉木 直文

#### ●抄録

歯周病のメンテナンスについては、必要性は感じていながらも、なかなか力を入れる余裕がないのが現状かもしれません。岡大予防歯科では約1,000人/月の患者が来ますが、そのほとんどがメンテナンス患者です。予防歯科における「つまようじ法」を用いたメンテナンスの臨床を、実演をふまえながら説明させていただきたいと思います。また、口臭外来における問診・測定についても、合わせてご紹介させていただきます。

#### ●略歴

玉木 直文：日本口腔衛生学会認定医・評議委員  
平成9年3月 岡山大学歯学部歯学科 卒業  
平成13年3月 岡山大学大学院歯学研究科 修了  
平成13年4月 岡山大学歯学部附属病院助手（予防歯科）  
平成16年4月 鳥根県美都町国民健康保険歯科診療所 所長  
平成17年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 助手（予防歯科学分野）  
平成19年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 助教（予防歯科学分野）

現在に至る

## ■第二セミナー (11:10~12:10)

日歯生涯研修コード No. 0801



### 「小児の行動発達と歯科診療」

岡山大学病院 小児歯科 講師 尾形 小霧

#### ●抄録

一昔前は、小児の診療拒否を耳にしたものですが、最近では一般歯科の先生方も、小児をしっかり診療されていると敬意を表します。長年小児歯科臨床に携わってきて、理想と現実のギャップを感じますが、こどものしあわせを考えて診療しています。一般に歯科恐怖のほとんどは小児期の診療に起因します。小児の発達に合わせながら、無理しない楽しい小児の診療を紹介しますので、明日からの臨床に役立ててもらえたら幸いです。

#### ●略歴

尾形 小霧：日本小児歯科学会専門医・指導医  
昭和51年3月 大阪大学歯学部歯学科 卒業  
昭和51年4月 大阪大学歯学部小児歯科研究に従事  
昭和55年7月 平賀歯科（東大阪市）勤務  
昭和59年4月 岡山大学歯学部助手（小児歯科）  
平成6年4月 岡山大学病院講師（小児歯科）

現在に至る

## ■第三セミナー (12:40～13:40)

日歯生涯研修コードNo. 0502



### 「抗血栓薬、ビスフォスフォネート製剤服用 患者に対する抜歯の対応」 ～抜歯基本手技と症例選択～

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔顎顔面外科学分野

助教 志茂 剛

#### ●抄録

近年、高齢化社会の到来に伴い、脳梗塞や心筋梗塞に代表されるワーファリンやアスピリンなどの抗血栓薬服用患者や、骨粗鬆症に代表されるビスフォスフォネート製剤服用患者の歯科受診が増加しています。こうした患者では、抜歯などの観血的処置を行う際の休薬の可否、また再開のタイミングが大きな問題となります。本セミナーではこれらの疾患を持つ患者に対して歯科医師が最低限知っておくべき現状、抜歯後出血や顎骨壊死を避けるために必要な抜歯の基本手技、症例選択を提示いたします。

#### ●略歴

志茂 剛：日本口腔外科学会専門医  
平成6年3月 広島大学歯学部 卒業  
平成6年4月 岡山大学歯学部第二口腔外科 入局  
平成10年3月 岡山大学大学院歯学研究科 修了  
平成10年4月 吉備高原医療リハビリテーションセンター歯科 勤務  
平成12年4月 米国ペンシルバニア大学歯学部ポストドクトラルリサーチフェロー  
平成14年4月 岡山大学歯学部附属病院医員（第二口腔外科）  
平成14年12月 岡山大学医歯薬学総合研究科助手（第二口腔外科）  
平成19年4月 岡山大学医歯薬学総合研究科助教（口腔顎顔面外科学分野）

現在に至る

## ■第四セミナー (13:50～14:50)

日歯生涯研修コードNo. 0501



### 「日常臨床に歯周組織再生療法を活かす」 ～症例選択から切開・縫合まで～

岡山大学病院 総合歯科 助教 河野 隆幸

#### ●抄録

インプラント治療の進歩に伴い、日常臨床において顕著な骨吸収を伴う歯は抜歯の適応とされることが多いかも知れません。しかし、歯の保存を考えると、歯周組織再生療法は大切な治療オプションの一つであると思われます。そこで、現状の歯周組織再生療法について、論文や臨床例を提示しながら、基本的な知識や確実な予後を得るためにはどのような症例を選択しどのような術式を用いるべきかを整理しつつ、ご紹介したいと思います。

#### ●略歴

河野 隆幸：日本歯周病学会歯周病専門医・指導医  
平成3年3月 岡山大学歯学部歯学科 卒業  
平成8年4月 岡山大学歯学部助手（歯科保存学第二講座）  
平成16年4月 医療法人社団セラ 松崎ファミリー歯科矯正歯科 勤務  
平成17年4月 岡山大学病院助手（総合歯科）  
平成19年4月 岡山大学病院助教（総合歯科）

現在に至る



## ■今後の予定

### 香歯救命救急研修会 (外来環の施設基準に係る講習会)

日 時：平成21年11月29日(日)

講 師：坂出市立病院 吉川圭、さぬき ACLS メンバー

### 日歯生涯研修セミナー：四国地区(徳島県)

日 時：平成21年12月6日(日)

テ ー マ：「いつまでもおいしく食べていただくために PartⅢ  
—インプラントによる咬合再建—」

講 師：高森 等 (日本歯科大学教授)

前田 芳信 (大阪大学教授)

### 8020県民公開講座

日 時：平成22年1月24日(日)

場 所：かがわ国際会議場

テ ー マ：「口腔がん」(仮題)

講 師：柴原 孝彦 (東京歯科大学教授) ほか

### 香川県歯科医学大会・四国デンタルショー

日 時：平成22年2月7日(日)

場 所：香川県歯科医療専門学校・香川県歯科医師会館新館

テ ー マ：未定

講 師：高橋英登 (特別講演)

演 題：意識改革・納得診療・経営転換—よみがえれ！歯科医院 (仮題)

そ の 他：歯科技工士・歯科衛生士対象講演会など

日歯生涯研修ICカードを持参してセミナー会場での参加登録をおねがいます。

- 香川県歯科医師会・郡市歯科医師会・日本歯科医師会の研修会セミナーへの参加の場合
- その他、同窓会・スタディーグループで日歯生涯研修事業認定研修会への参加の場合